

シリコンクール

「シリコンクール」は太陽の熱エネルギーを反射し、快適な室内環境をもたらす遮熱効果に優れた屋根用遮熱塗料です。

一液水性反応硬化型アクリルシリコン樹脂を使用した強靱な塗膜は耐候性、耐汚染性に優れ、コロニアル、波形スレート、アスファルトシングル、カラートタン等、各種屋根の塗り替えに最適です。

特長

1. 遮熱効果に優れている

太陽の熱エネルギーを反射させることにより屋内温度の上昇を防ぎます。

2. 耐候性に優れている

一液水性反応硬化型アクリルシリコン樹脂を使用しており、長期耐候性に優れています。

3. 耐汚染性に優れている

乾燥が早く、架橋された緻密な塗膜を生成するため耐汚染性に優れています。

4. 耐水性、耐アルカリ性、耐酸性に優れている

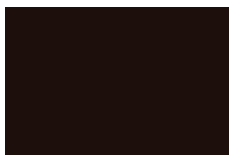
セメント瓦、波形スレート等のアルカリや酸性雨に対して優れた耐久性を有します。

用途

コロニアル・セメント瓦・モニエル瓦・波形スレート・釉薬瓦・アスファルトシングル
・カラートタン等の塗装および塗り替え

常備色

- ① 遮熱ディープグリーン ② 遮熱チョコレート ③ 遮熱ブラック ④ 遮熱ミドルグレー (シルバー中塗兼用) ⑤ 遮熱シルバー上塗 (中塗ミドルグレー使用)



※この色見本は、紙に特殊印刷しておりますので、実際の色と若干異なることがあります。
※シルバー系は塗装法、反射等によって実際の色と若干異なることがあります。

遮熱効果：シリコン水性カワラとシリコンクールの温度差

(金属板に塗料を塗布し、400W赤外線ランプを照射し、温度が平衡に達した時の金属板表面温度を測定)

常備色	シリコン水性カワラ	シリコンクール	温度差
遮熱ディープグリーン	77.5℃	60.0℃	-17.5℃
遮熱チョコレート	73.5℃	59.8℃	-13.7℃
遮熱ブラック	80.5℃	64.3℃	-16.2℃
遮熱ミドルグレー	77.0℃	63.8℃	-13.2℃
遮熱シルバー	76.2℃	63.2℃	-13.0℃

一般物性

試験項目	試験結果	試験条件
光沢	77	JIS K 5600 60度鏡面光沢度
硬度	HB	JIS K 5600 引っかかり硬度 (鉛筆法)
耐汚染性	良好	粉状カーボン浸漬
耐候性	異常なし	サンシャインウエザ-メーター 500時間

耐薬品性

試験項目	試験結果	試験条件
耐水性	異常なし	水道水 7日間浸漬試験
耐アルカリ性	異常なし	飽和水酸化カルシウム 7日間浸漬試験
耐酸性	異常なし	2%硫酸 7日間浸漬試験

容量・荷姿・希釈割合

品名	容量・荷姿	希釈割合		1缶当たりの標準塗装面積 (コロナル面の場合)
		エアレス	ローラー・ハケ	
シリコンクール (遮熱上塗材)	15kg石油缶	水30~40%	水20~30%	0.13~0.15kg/m ² 2回塗りで50~58m ²
エクセルプライマー (粘土瓦、カラートタン用下塗材)	16L石油缶 4L角缶	ビニコートシンナー 20%~30%	ビニコートシンナー 20%~30%	0.1~0.12kg/m ² 1回塗りで125~150m ²
カワラプライマー (コロナル、セメント瓦用下塗材)	15kg石油缶	無希釈	無希釈	0.1~0.15kg/m ² 1回塗りで100~150m ² 2回塗りで50~75m ²
カワラフィラー(グレー) (下地調整材)	15kg石油缶	水0~5%	水0~5%	0.3~0.5kg/m ² 1回塗りで30~50m ²
カチオン浸透エポプライマー (コロナル、セメント瓦、 アスファルトシングル用下塗材)	15kg石油缶	無希釈	無希釈	0.1~0.15kg/m ² 1回塗りで100~150m ² 2回塗りで50~75m ²

標準塗装仕様

● コロナル・セメント瓦・波形スレート面

工程	品名	使用量	塗回数	上塗可能時間(23℃)	備考	
1	素地調整	脆弱層及びゴミ、ホコリ、苔等は、電動カップブラシ、ワイヤーブラシ等で取り除き必ず高圧洗浄機にて除去後、充分乾燥する。				
2	下塗	カチオン浸透エポプライマー またはカワラプライマー	0.1~0.15kg/m ² ・回	1~2回	2時間以上	ローラー、ハケ、エアレス
3	上塗	シリコンクール	0.13~0.15kg/m ² ・回	2回	2時間以上	ローラー、ハケ、エアレス

● アスファルトシングル面

工程	品名	使用量	塗回数	上塗可能時間(23℃)	備考	
1	素地調整	脆弱層及びゴミ、ホコリ、苔等は、電動カップブラシ、ワイヤーブラシ等で取り除き必ず高圧洗浄機にて除去後、充分乾燥する。				
2	下塗	カチオン浸透エポプライマー	0.2~0.3kg/m ² ・回	1~2回	4時間以上	ローラー、ハケ、エアレス
3	上塗	シリコンクール	0.2~0.3kg/m ² ・回	2回	2時間以上	ローラー、ハケ、エアレス

● 釉薬瓦・素焼瓦など粘土瓦面およびカラートタン面

工程	品名	使用量	塗回数	上塗可能時間(23℃)	備考	
1	素地調整	脆弱層及びゴミ、ホコリ、苔等は、電動カップブラシ、ワイヤーブラシ等で取り除き必ず高圧洗浄機にて除去後、充分乾燥する。				
2	下塗	エクセルプライマー	0.1~0.12kg/m ² ・回	1回	2時間以上	ローラー、ハケ、エアレス
3	上塗	シリコンクール	0.13~0.15kg/m ² ・回	2回	2時間以上	ローラー、ハケ、エアレス

- ・カラートタン面にさびが有る場合は除去し遮熱サビ止めプライマーを塗布して下さい。
- ・プライマーの使用量は標準値です。瓦の劣化程度によって塗回数・使用量が増加する可能性があります。
- ・コロナル、モニエル瓦への塗装でカラー化粧層(コロナル)、カラスラリ層(モニエル瓦)等の着色層が風化している場合あるいは、一部基材が露出している場合および基材が完全に露出し吸い込みが激しい場合は当社までご相談下さい。
- ・カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、ハケ等はシリコンクールと共用しないで下さい。
- ・他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用すると錆が発生する可能性があります。

施工上の注意事項

1. 素地調整は必ず行ってから塗装して下さい。
2. 「シリコンクール」はご使用前に充分攪拌してから塗装して下さい。
3. 旧塗膜がアクリルウレタン系の場合は「エクセルプライマー」をご使用下さい。
4. いぶし瓦および旧塗膜が2液反応型シリコン系又はフッ素系の場合は塗装しないで下さい。
5. 吸い込みの激しい下地の場合は、プライマーを2回以上塗布して下さい。
6. 「シリコンクール」のシルバーはハケ、ローラー塗りは出来ません。必ずエアレス塗装して下さい。なお、上塗り1回目に遮熱ミドルグレー(シルバー中塗兼用)を塗布してから行って下さい。
7. 夜露、高湿度等で被塗物が結露している場合はウエス等で拭き取り充分乾燥させてから塗装して下さい。フクレ、ハガレの原因となります。
8. 気温5℃以下、湿度85%以上の施工は避けて下さい。また塗装後、翌日までに降雨、降雪が予想される場合にも施工は避けて下さい。
9. エアレス塗装等、吹付け塗装の場合には塗料の飛散に充分注意して下さい。付近の建物、自動車等はあらかじめ養生して下さい。軒先等は圧力を低下させ、あて板などで養生し、塗装して下さい。
10. 塗料のミストが自動車、ガラス、アルミサッシ等に付着した場合はすぐにウエス等で拭き取って下さい。
11. 乾燥した塗料のミストは、ラッカーシンナー等で素材を傷つけないよう拭き取って下さい。
12. 水切り部で上下の瓦に隙間がないと敷板の腐敗や雨漏りの原因となります。塗料で隙間が接着している箇所はスクレーパー等で縁切りをして下さい。
13. コロナル・セメント瓦・波形スレート面での塗装においてプライマーは乾燥後、養生テープ等で浸透性を確認し浸透不足等による表層剥離を生じた場合は再度プライマーを塗装して下さい。
14. 瓦表面が荒れて吸い込みが激しい場合はプライマー塗装後、艶ムラを防止するためにカワラフィラー(グレー)を使用して下さい。標準使用量は0.3~0.5kg/m²・回です。
15. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
16. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。
17. 容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

※取り扱い上の注意については容器に表示された注意事項をご参照下さい。

※詳細内容が必要な場合は製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

シリコンクール



ご注意

取り扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照下さい。

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

※アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)

●お問い合わせは……

東日本塗料株式会社



本社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。 URL <http://www.hnt-net.co.jp>

※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

CATALOG NO.9 '14.09.1500